

第5期守谷市高齢者福祉計画・介護保険事業計画を策定

●問合先 市役所介護福祉課 内線177

市民の皆さんが高齢期に安心で生きがいを持った生活が送れるよう、第5期守谷市高齢者福祉計画・介護保険事業計画を策定しました（計画期間は平成24～26年度）。計画の概要は次のとおりです。詳細は、市ホームページでご覧いただけます。

◎高齢社会の見込と課題

市の高齢化率は低く推移していますが、65歳以上の高齢者人口は増加傾向にあり、平成26年には約1万2000人になると見込んでいます。なかでも高齢者世帯、特にひとり暮らしの高齢者や日中ひとりになる高齢者が増加しています。地域で生活を続けるためには、このような方々へのさまざまな支援が必要になります。

介護を必要とする高齢者は、平成26年に約1400人になると推計されています。介護をしている方は配偶者が中心で、多くが75歳以上の高齢者であることから、今後、さらに介護サービスの必要性が高まる可能性があります。

一方、活発に活動する高齢者も数多くいます。そのため活動を支援することに

より地域における介護の担い手になるなど、市民参加型の高齢者福祉のシステムづくりができる可能性を持っています。

高齢者が住みなれた地域で安心した生活ができるような、また介護が必要な状態になっても地域で生活を続けることができるような、高齢社会に向けた長期的な視点による施策を検討する必要があります。

◎第5期守谷市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の基本目標

1 健康で自立した、生きがいのある生活の支援

高齢者自身が健康づくりに取り組む、趣味などで社会参加することは、より自分らしく充実した人生を送ることにつながります。自立した生活を送るため、健康づくりの支援、生きがいづくりの支援に取り組むと

ともに、地域社会の活動に性別を問わず高齢者が積極的に参画できるよう促進します。

2 地域で互いに支えあう、豊かなまちづくり

高齢者は社会とのつながりが徐々に疎遠になっていき、孤立する傾向があり、地域と高齢者のコミュニケーションの重要性が叫ばれています。そこで、守谷市地域福祉計画と連携し、「地域包括支援ネットワーク」の構築など、地域の高齢者を支える仕組みづくりに取り組めます。

3 高齢者のニーズに応じたサービスの充実

高齢者が安心して暮らせるよう「地域包括ケアシステム」の構築に向けて「医療との連携」「認知症支援策の充実」「生活支援サービス」について積極的な取り組みを進めます。それと

ともに、日常生活圏域ごとのニーズを、自助・互助・共助・公助の方法で解決できるように支援します。

◎地域包括ケアシステムの構築

高齢となった多くの市民は、住みなれた地域や住居で生活を続けることを望んでいます。現在、ケアニーズの増加、高齢者のみ世帯の増加、認知症高齢者の増加などの状況があり、介護保険サービス、医療保険サービスのみならず、見守りなどのさまざまな生活支援や成年後見等の権利擁護、生活する場所、低所得者への支援などが求められています。そのため、これらの各サービスを包括的、継続的に繋いでいく「地域包括ケアシステム」が必要となります。

今後は医療を含めた地域完結型で、かつ高齢者ニ

ズを的確に捉えた地域包括ケアシステムの構築を図ることが課題となります。

地域で互いに支えあう豊かなまちづくりと、高齢者のニーズに応じたサービス提供の充実を実現する地域包括ケアシステムを構築するためには、地域内にあるいろいろな社会資源を有効に活用する地域包括支援ネットワークを構築することが重要です。同時に地域内の市民、団体、企業、医療機関、介護サービス事業者などの連携・協力が必要です。

ただし、高齢者の人数や介護が必要な方、社会資源などは地域によって状況が異なります。そのため、計画では市内を6か所に地域分けして日常生活圏域とし、その圏域ごとに対応します。計画を図解すると左ページのようになります。